

贈ることば

（令和四年度卒業証書授与式）

校庭の桜が、今日の日を待ちわびたかのように、開花し始めました。このよき日に、多可町教育委員 岩田光代様、多可町役場地域共生担当理事兼ふくし相談

支援課長 足立 貴美代様、多可町教育委員会事務局 こども未来課長 市位 孝好様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業証書授与式を挙行できますこ

と、厚くお礼申し上げます。

伝統ある中町南小学校 第130回卒業生として、本校を巣立つ50名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今、卒業証書を授与しましたが、受け取るみなさんの顔は、その充実感から、自信と誇りに満ちあふれていました。6年間本当によく頑張りましたね。

今年もコロナ禍で色々と制限される学校生活を送ることが度々あったと思いますが、それにも負けず、しっかりと最高学年として活躍することができました。

運動会では、自分たちがどのような運動会にしたいのかを全校生に伝え、応援の仕方など、自分たちが見本になりチームが団結するため一生懸命取り組みました。予行では白組が勝ち、本番では紅組が勝ちました。両チームの団結力は、本当に五分と五分の勝負だったと思います。

ウインターフェスティバルでは、毎日コツコツと準備し、「箱の中身をあてていけ」や「救いまくれ、ボールすくい」など、工夫を凝らしたたくさんのお店を開設し、全校生のみんなを楽しませてくれました。1年生から5年生の在校生も、とても楽しかったと喜んでいました。

また、委員会活動においても、毎日の活動をきちんと行い、中町南小学校の良い生活リズムを作ってくれました。そして、3月には愛校作業として、私と一緒に運動場東側の溝をきれいにしてくれました。母校を大切に作る素晴らしい活動でした。

私が一番ホツとしていることは、小学校最大イベントの修学旅行に全員で行く

ことができたことです。コロナ禍の中ではありましたが、マスクの着用や手指消毒など感染症対策を一人一人が徹底して、修学旅行に行くことができました。

友だちと一緒に奈良公園や金閣寺・映画村、そして旅館などで楽しく過ごしていたみなさんの笑顔はとても最高でした。全員で行くことができて本当に良かった

と思います。

さて、四月からはいよいよ中学生です。そこで、卒業に際し、みなさんに「夢の実現」という話をします。

「ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校でも全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるには、

練習が必要です。ぼくは、その練習には自信があります。ぼくは、3歳の時から練習を始めています。3歳から7歳までは、半年ぐらいいやっていたましたが、3年

生の時から今までは、365日のうち360日激しい練習をやっています。だから、1週間の中で、友だちと遊べる時間は5時間から6時間の間です。そんなに

練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。そして、ぼくが一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って、応援してもらうのも夢の一つです。とにかく、一番の大きな夢は、プロ野球選手になることです。」

この作文は、元大リーガーのイチロー

選手の小学6年生の時の作文です。イチロー選手は自分の「夢を実現する」上で大切なことを3つ書いています。

1つ目は、「夢の実現のための方法を

定める」ということです。彼は、その方法を「激しい練習」と言い切っています。

2つ目は「夢の実現のために苦労を惜しまない」ということです。練習の休み

は、1年間に5日しかないのです。

最後、3つ目は「お世話になった人に対して、感謝の気持ちを持つ」ということです。招待券を配って球場に招待する

ということとは、感謝の気持ちを越え、お世話になった方々への恩に報いるという『報恩（恩返し）の心』を持っているということです。是非みなさんもこれからの人

生「夢」の実現に向け、一人一人がその方法を考え、苦勞を惜しむことなく「感謝や報恩（恩返し）の心」を持って、たくましく生きてほしいと願っています。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、喜びもひ

としおのことに拝察いたします。

私たち教職員一同、微力ではございますが、お子様の健やかな成長を目指し、これまで懸命に教育活動に取り組んで参りました。至らぬことも多々あったかと思いますが、本校教育に温かいご支援とご協力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

終わりにりましたが、ご来賓の皆様方には、公私ともにご多用の中、ご臨席賜りますと共に、巣立ちゆく卒業生の門出を祝福していただき、誠にありがとうございます。

ございます。今後とも本校教育の推進に、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

卒業生の皆さん、私とは2年間という短い時間でした。私はこの式辞を考えながら、5年生での自然学校や心の健康教育の授業など、みなさんと過ごした2年間の思い出していました。短い中にも、

たくさんの思い出がつきません。本当にありがとうございました。中町南小学校で過ごした思い出を忘れることなく、一人一人が、輝かしい未来の「夢や希望」



に向かって、大きく羽ばたいてくれるこ  
とを願ひ、校長の贈る言葉といたします。

令和五年三月二十三日

多可町立中町南小学校長

足立 徳昭